

オアシス、その歴史にピリオドを打つ直前 —— 日本最後のライブ

oasis

 SMASH go round **FUJI ROCK FESTIVAL'09**

July 24th, 2009

珠玉の20曲
完全ノーカット
上映!

2017.3.4 sat “期間限定” 上映

oasis-frf09.jp

*oasis FUJI ROCK FESTIVAL'09: Fuckin' In The Bushes / Rock 'N' Roll Star / Lyla /
The Shock Of The Lightning / Cigarettes & Alcohol / Roll With It / Waiting For The Rapture /
The Masterplan / Songbird / Slide Away / Morning Glory / My Big Mouth /
Half The World Away / I'm Outta Time / Wonderwall / Supersonic / Live Forever /
Don't Look Back In Anger / Champagne Supernova / I Am The Walrus*



今、甦る伝説のラスト・ライブ in JAPAN

2009年7月24日、金曜日。フジロックフェスティバル'09の初日、朝から降り続いた雨は、夜になる頃には観客の体力を確実に奪っていた。そこに登場した、英国の雄オアシス。大雨の中フィールドを埋め尽くした観客が見たのは、この約一か月後に突然ノエルが脱退宣言し解散状態になだれこむことになる、オアシスのまさかの日本でのラスト・ライブだった――。

この「oasis FUJI ROCK FESTIVAL'09」は、オアシスのファンのみならず、オアシスの歴史においても特別な夜だった2009年7月24日のライブの模様を、あの場の空気感までも感じさせる映像で映し出している。そもそも、全編を通してこのライブを収録した映像が存在していたことすら長年知られていなかった。いわば古

きファンにとっては感涙の、若きファンにとっては夢にも思わなかったであろう、「あの夜のオアシス」がしっかりと封じ込められている作品である。

カメラは登場の瞬間から、丁寧にバンドを追い続ける。たとえば3曲目「ライラ」で、故意かどうかはわからぬが間違った歌詞を歌いつづけるリアム・ギャラガー(Vo)に対し、コーラスを入れる兄のノエル・ギャラガー(G)が「勘弁してくれよ」と言わんばかりにらみつける様子さえも、はっきりと映し出す。傍若無人なロックスターだと思われがちなりアム・ギャラガーが、実は細かくマイク音響の指示なども出しながら全力で真摯に歌い続けている姿。この夜の「ハーフ・ザ・ワールド・アウェイ」や「ドント・ルック・バック・イン・アングラー」などで見せたノエル・ギャラガーの優しい表情。そういった微細な部分まで、しっかりとこの作品のカメラは捉えている。大雨の中でのライブだったため、あの場を共に過ごすのに必死で細かい部分まで覚えていなかった人もきつというだろうが、失われた記憶は間違いなくこの映像で補完されるに違いない。

それにしてもオアシスは、本当に絵になるバンドだった。体を少し斜めに傾け、ガニ股でひざをわずかに曲げ、両手を後ろで組み、そしてマイクに上唇をつけて歌うリアム・ギャラガー。彼を左側から撮影すると、その先には伏し目がちに、職人然としながらギターを紡ぎ続けるノエル・ギャラガーも同時に映る。この2人が視界に同時に収まった時の、胸の中に湧きおこる不思議な高揚感をぜひ体感して欲しい。これぞ、オアシスだ。

(妹沢奈美 /ライター)



oasis FUJI ROCK FESTIVAL' 09

チケットのお求めは

ローチケ HMV

ローチケ 検索

上映劇場、チケット発売情報等、詳細は公式サイトにて

oasis-frf09.jp

2017年3月4日(土)
“期間限定”上映!